

第4回いわて農林水産物機能性活用研究会シンポジウム
「食の機能を活用した健康づくり産業 ～新しい地域振興～」

1. 趣旨

「いわて農林水産物機能性活用研究会」は、地場の農林水産物活用による健康づくりと地域振興を目指しています。

新型コロナウイルス感染症は、人々の健康や経済に大きな影響を与えています。こうした状況の中で、重症化リスクを防ぐためには、各地域における普段からの疾病予防 = 健康維持・増進が、今まで以上に強く求められています。一方で、農林水産物の持つ機能性は、こうした健康維持の増進に役立つとともに、そうした食品の生産が、地域振興につながる可能性も秘めています。

全国で活性化する農林水産物の健康機能の活用による産業振興の取組の推進を目指し、シンポジウムを開催します。

2. 主催：公益財団法人 岩手生物工学研究センター、いわて農林水産物機能性活用研究会、

3. 開催日時 令和2年8月28日（金）13:00-16:30

4. 場所 岩手教育会館 多目的ホール
〒020-0022 岩手県盛岡市大通1丁目1-16 TEL：019-623-3301（代表）

5. 内容 講演1「北の大地の機能性食品 -ヘルシーDo-」
一般社団法人 北海道バイオ工業会 事務局長 三浦 健人 氏

講演2「九州各地の健康づくり企業支援」
九州地域バイオクラスター推進協議会 プロジェクトマネージャー 森下 惟一 氏

講演3「産学官連携によるフーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクトの取組」
公益財団法人静岡県産業振興財団
フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター センター長 望月 誠 氏

講演4「健康ビッグデータで「寿命革命」」
弘前大学 COI 研究推進機構(健康未来イノベーションセンター)
COI 副拠点長・教授 村下 公一 氏

講演5「コロナ禍と成長戦略 地方創生の可能性」
前 内閣審議官 間宮 淑夫 氏

(※状況に応じて一部オンライン)

6. 参集範囲 一般（事前登録制）

7. 参集人数 会場は最大320名を収容できますが、ソーシャルディスタンスを考慮し、100名に限定いたします。

8. 参加申込 別紙申込書により、8月20日（木）までにメール、又はファクスで申し込む。

9. その他 当日はマスクの着用と手洗い等の対策をお願いします。また、当日、発熱等の症状がみられる場合は参加をご遠慮ください。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては変更や中止する場合があります。

10. 問合せ 公益財団法人岩手生物工学研究センター／いわて農林水産物機能性活用研究会事務局
電話 0197-68-2911 FAX 0197-68-3881 E-mail k-shinohe@ibrc.or.jp